

名鉄名古屋本線・各務原線鉄道立体化促進 期成同盟会 国への提言活動のご報告

実施日

2025年10月22日(水)

提言先

国土交通省 三浦 逸広 大臣官房審議官
財務省 山川 清徳 主計局主計官

出席者

会 長 柴橋 正直 岐阜市長
副会長 岐阜市議会 竹市 勲 議長
副会長 岐阜商工会議所 村瀬 幸雄 会頭
ほか評議員(地元自治会会長等)5名

名鉄名古屋本線鉄道立体化の早期実現を促進するため、柴橋岐阜市長、当所村瀬会頭ら期成同盟会メンバーが、国土交通省および財務省に提言活動を行いました。

名鉄名古屋本線連続立体交差事業は、踏切事故のリスクや交通渋滞の解消に加え、市街地の活性化を図るためにも極めて重要であり、村瀬会頭からは、加納地区はかつて中山道の宿場町として栄えてきた所であり、高架化によりまちづくりが進むことを期待している等、当事業への想いを伝えました。

そして、当事業に必要な国庫補助金の確実な交付を求める提言書を提出しました。

